

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	浅沼 俊明
全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3529
事務事業名	13618 空家対策事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06033400 安心して快適な住環境の推進										
会計	01 一般会計										
科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費										
事業	050000 空家対策事業										
事業目的						事業概要・効果					
空家等に関する対策実施のための協議会の開催。						空家等対策の推進に関する特別措置法の規定により、空家等に関する対策の実施のための協議会を設置し、空家等対策計画を策定し、計画に沿った空家対策を実施する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
空家調査の実施	空家アンケートの実施
平成29年度 実績	平成30年度 実績
空家対策協議会の設置 3回の会議を開催 空家対策計画の策定・公表	1回の会議を開催 空家対策計画に基づく空家対策の実施
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施	2回の会議を開催予定 空家対策計画に基づく空家対策の実施

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		13	68
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		13	68
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	715.0	715.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		728.0	783.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13	空家等対策協議会委員報酬10 郵送料3

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	68	空家等対策協議会委員報酬65 郵送料3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	住民からの苦情を機に、通知文や訪問などと調査をした結果問題になっていた空家の解体などをしてくれた所有者がいるため必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	今後長年問題になっている空家は代執行等で対応していくと思われるが、草木の伐採などは通知文などで対処してもらうことが多い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	協議会の開催回数を1回に減らした	

振り返り（決算年度の取組み課題）

今までは特定空家の指定がなかったが、今後は空家の件数も増えていく可能性があるため危険な空家への代執行を考えていく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

空家等対策計画に沿った対応が必要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

人口が減少する中で、空家対策は重要な取り組みであり、空家対策計画に沿って進める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--